

# 新風

## 若者が魅力を感じる地域へ

長岡技術科学大学学長

鎌土 重晴



令和3年4月1日に国立大学法人長岡技術科学大学長に就任しました。この場を借りまして学長として本学の今後の取組の一端を述べさせていただきます。

本学は学生定員の約8割を高等専門学校本科から3年次への編入で受入れる全国でも珍しい大学です。1976年の開学から、学部-大学院修士課程までの一貫した教育により産業界や研究機関で活躍する実践的技術者・研究者を輩出してきました。1990年代よりグローバル化時代の到来を予測して開発途上国から留学生を積極的に受け入れ、グローバル技学教育ネットワークをアジア、中南米、欧州、アフリカの拠点大学と連携して構築し、世界を牽引する実践的グローバル技術者教育を先導してきました。これらの実績から2018年には国連からSDGs(持続可能な開発目標)を先導する大学として、SDGゴール9のハブ大学に任命され、その活動が高く評価された結果、本年6月からの3年間さらに継続されるに至っています。

今後も、イノベーション創出を担う実践的・創造的能力と持続可能な社会の実現(SDGs達成)に貢献する志を備えた人材の養成を行い、世界の技術科学を先導する実践的教育研究の世界的拠点大

学を目指します。このためには、地域産業が抱える多様な課題の解決を目指して、本学のシーズと地域産業のニーズの共有化や研究機器の共用化・リモート化・スマート化に向けた強固なネットワークを形成し、研究開発力や地域産業の高度化を図り、新産業創出に貢献してまいりたいと考えています。さらに、未来社会の産業構造変化に対応するため産業界・社会からの要望にお応えし、社会人リカレント教育にも注力します。

本学は既に新潟県や長岡市をはじめとした県内の11の自治体と包括的連携・産学連携協力等の協定を締結し、農工連携や水工連携等も含めた共同研究に加えて、人材育成も着実に進めています。昨年後半から、新潟県も人口転出超過県から人口流入超過県へ変わりつつあると報道されていますが、本学としても、そのような動向をさらに加速させるお手伝いをさせていただき、若者が集う魅力ある地域への転換に貢献してまいります。

### PROFILE

鎌土 重晴 (かまど しげはる)

1982年豊橋技術科学大学大学院修了。2004年10月長岡技術科学大学教授。2015年9月同大学理事・副学長。2021年4月より現職。専門は材料科学。